

# TCFD提言に基づく情報開示

## ■基本的な考え方

AOKIグループは地球環境の保全を重要テーマと認識し、各事業における環境負荷低減に取り組んでいます。2021年には気候変動が企業等に与える影響に関する情報開示を求める「TCFD提言」に賛同。今後はTCFD提言の枠組みに沿った情報開示をさらに進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



※TCFD：G20の要請を受け、2015年に設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）」の略称。気候変動が金融市場に重大な影響をもたらすとの認識を背景に、2017年に公表された最終報告書（TCFD提言）では、企業等に気候変動に伴うリスクと機会等の情報開示を求めた。

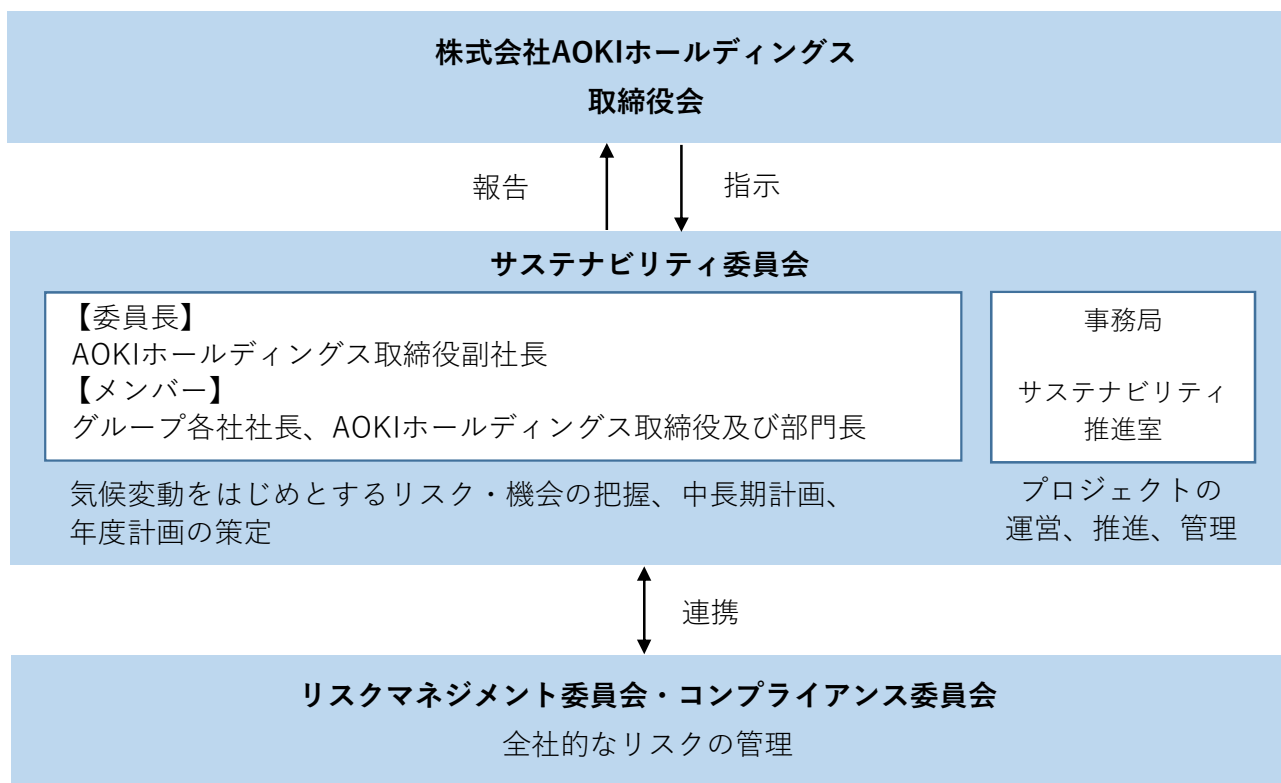
## ガバナンス

### サステナビリティ委員会において気候変動対応を審議

2021年12月、AOKIホールディングスの取締役会によって指名された取締役副社長を委員長とし、グループ各社社長、AOKIホールディングス取締役、部門長からなるサステナビリティ委員会を設置しました。同委員会は原則年2回開催し、気候変動が事業に与えるリスク・機会の評価を行うとともに、グループ全体の持続的成長に向けた中長期計画及び年度計画について審議し、取締役会に報告しています。

サステナビリティ委員会の運営はサステナビリティ推進室が担い、リスク・機会等の管理や同委員会が決定した業務の運営、推進にあたります。

取締役会は、サステナビリティ委員会で審議された重要事項や各計画の進捗の報告を受けることで、取り組み状況のモニタリングを行うとともに、気候変動関連事項を考慮した事業計画を立案、実行します。



## 戦略

### 気候変動関連リスク・機会と事業への影響・対策

気候変動の影響を背景とした温室効果ガス排出に関する規制強化や、再生可能エネルギーへの転換、消費者の消費志向の変化などは、AOKIグループの事業や財務に影響を及ぼす可能性があります。現時点でAOKIグループへの影響が大から中程度と想定されるリスク・機会については以下のとおりです。

## ■想定される主なリスク・機会

### 1) リスク

種類	内容	当社及び各事業が認識しているリスク				AOKIグループへの影響	
		AOKI-HD	ファッション	ブライダル	エンターテイメント		
移行リスク	政策・法規制		●	●	●	大	
			●	●	●	中	
	技術		●	-	●	中	
	市場			●	-	-	大
				-	●	●	中
	評判		●	●	●	●	大
		●	-	-	-	中	
物理的リスク	急性	●	●	●	●	大	
	慢性	●	●	●	●	中	

## 2) 機会

種類			当社及び各事業が認識している機会				AOKIグループへの影響
			AOKI-HD	ファッション	ブライダル	エンターテイメント	
資源の効率性	リサイクルの活用	原材料のリサイクルによるコストダウン・価値向上	-	●	●	●	大
エネルギー源	火力発電エネルギーから再生可能エネルギーへのシフト	再生可能エネルギー利用拡大によるコストダウン	●	●	●	●	大
製品・サービス	低炭素・脱炭素に貢献し得る商品・サービスの開発・拡大	サステナビリティに対応した新商品、新サービスの開発	-	●	●	●	大
市場	新規市場や新興市場へのアクセス	気候変動に対応した成長性の高い新ビジネスの事業ポートフォリオへの組み入れや、新規市場進出の検討	●	-	-	●	中
レジリエンス(回復力)	資源の代替・多様化	代替原料開発と原料仕入れ先との提携強化	-	●	●	●	大

## リスク管理

### 3つの委員会が連携して気候変動リスクを管理

グループ全体のリスク管理は、AOKIホールディングス取締役副社長を委員長とするリスクマネジメント委員会・コンプライアンス委員会が行っています。気候関連リスクについては、サステナビリティ委員会が事業への影響度を評価のうえ対応方針を決定し、その進捗をリスクマネジメント委員会・コンプライアンス委員会と共有しています。サステナビリティ委員会で特定された重要リスクとその対応については、取締役会に提言され、その承認のもと、事務局であるサステナビリティ推進室が中心となり、対応にあたります。

## 指標と目標

※ 主に、AOKIはファッション事業、アニヴェルセルはブライダル事業、快活フロンティアはエンターテイメント事業を展開しています。

### <当社グループの現状>

#### 1. CO2排出量

(t-CO2)

	2017年	2018年	2019年	2020年
AOKIグループ全社	124,381	117,645	114,157	113,818

#### Scope1

(t-CO2)

	2017年	2018年	2019年	2020年
AOKIグループ全社	2,370	2,427	2,732	2,775
AOKIホールディングス及びAOKI	953	883	776	735
アニヴェルセル	1,036	922	920	454
快活フロンティア	381	622	1,036	1,586

#### Scope2-Market Base

(t-CO2)

	2017年	2018年	2019年	2020年
AOKIグループ全社	122,011	115,218	111,425	111,043
AOKIホールディングス	720	708	733	741
AOKI	38,476	37,458	31,044	28,554
アニヴェルセル	6,253	5,906	5,698	4,245
快活フロンティア	76,562	71,146	73,950	77,503

#### Scope2-Location Base

(t-CO2)

	2017年	2018年	2019年	2020年
AOKIグループ全社	128,924	121,127	112,143	111,086
AOKIホールディングス	833	778	764	848
AOKI	42,550	39,573	34,445	30,680
アニヴェルセル	6,722	6,174	5,378	4,153
快活フロンティア	78,819	74,602	71,556	75,405

#### 2. プラスチック使用量(包材等)

(t)

	2017年	2018年	2019年	2020年
AOKI	308	402	356	391

#### 3. 衣料リサイクル回収着数

(千着)

	2017年	2018年	2019年	2020年
AOKI	207	224	229	184

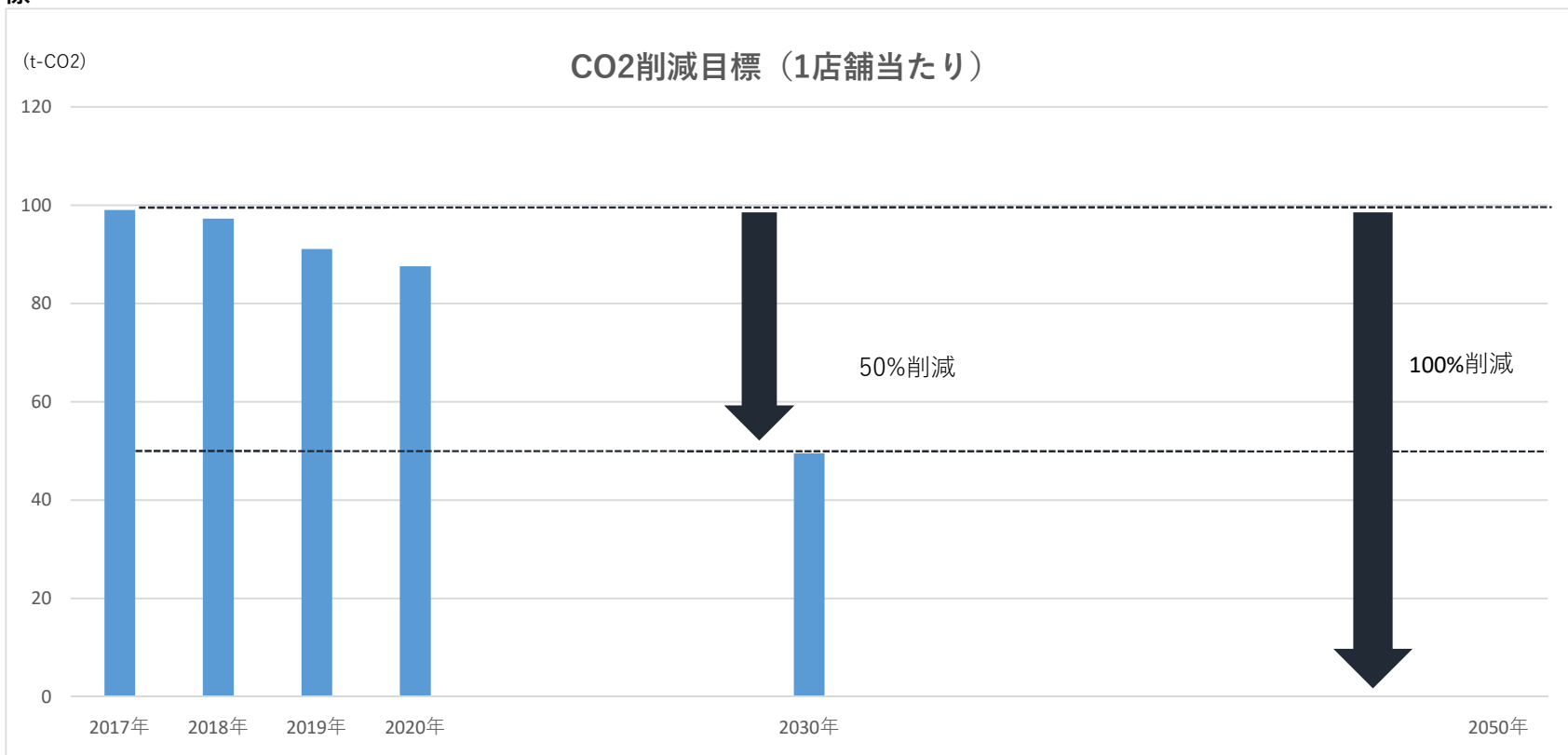
■指標

AOKIグループは、環境負荷低減のため温室効果ガス（CO2）排出量の削減を推進しています。2030年度に向けては、Scope 1・2の排出量について2017年度を基準年として1店当たり50%の削減を目指すとともに、Scope 3の開示に向けた取り組みを計画中です。また、2050年に向けてインターナショナルカーボンプライシングの導入も視野に入れ、サプライチェーン全体でCO2排出量ゼロを目標にさらなる取り組みを推進する計画です。

1店舗あたりのCO2排出量

	実績				目標	
	2017年	2018年	2019年	2020年	2030年	2050年
AOKIグループ全社（t-CO2）	124,381	117,645	114,157	113,818	-	0
AOKIグループ総店舗数(店)	1,256	1,209	1,253	1,299	-	-
1店舗当たり（t-CO2）	99.0	97.3	91.1	87.6	49.5	0.0

■目標



※指標及び目標の項目については、継続して検討してまいります。